



2016年6月28日

# नमस्ते From India vol.3

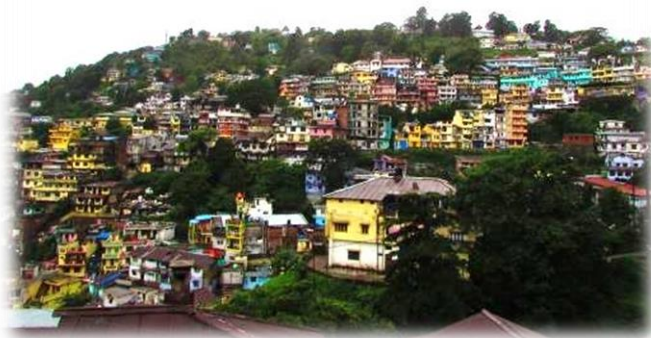
☆青年海外協力隊☆ 平成27年度派遣 日本語教育 武藤愛

皆さま、なますて～！武藤愛です。6月中旬から7月中旬まで、私の配属先(ドゥーン大学)は夏休み。6泊7日でウッタラカンド州の避暑地に行ってきました。インド山奥の村の人の生活も見ることができて、とても充実した旅行でした。インドは大国で、地方によって文化も全然違うので、「インドの田舎」と一言でまとめることはできませんが、今回は私が見たウッタラカンド州の村について書きたいと思います。

## ウッタラカンド州の避暑地 “Nainital(ナニタル)”

ナニタルは、ウッタラカンド州のクマオン地方最大の町。標高1900メートルのところにあります。ナニタルのナニはサンスクリット語で「目」、タルは「湖」を意味していて、ナニタルにあるナニ湖はヒンドゥー教の神の一人である、シバ神の目であると言われているそうです。デリーから約300kmのところに位置し、バスで簡単にアクセスできます。そのため、夏のピークシーズンは、ホテルはどこも満室になります。

湖のすぐ横にはお土産やさんが並んでいる the Mallと言われる道があり、家々は山の斜面にはりつくように建てられています。



The Mall



ヒンドゥー教のお寺



## ウッタラカンド州 Bhimtal 近くの村 "Alchauna(アルチョーナ)"

Bhimtal(ビムタール)という町の近くの村に2泊3日の滞在をしてきました。日本では考えられない風景がたくさん。写真を中心にをご紹介します。



私のステイした家



周りはトマト畑

ステイした家の周りには、何もありません。他の民家もなく、一番近くの隣のうちまで徒歩20分。農業が盛んな地方で、今の時期はトマトが栽培されていました。4毛作をしているとのことでした。



道は舗装されていないので、収穫した農産物を運ぶのも大変です。馬を使う人や、頭の上のせて運ぶ人など。



豆を運ぶ人



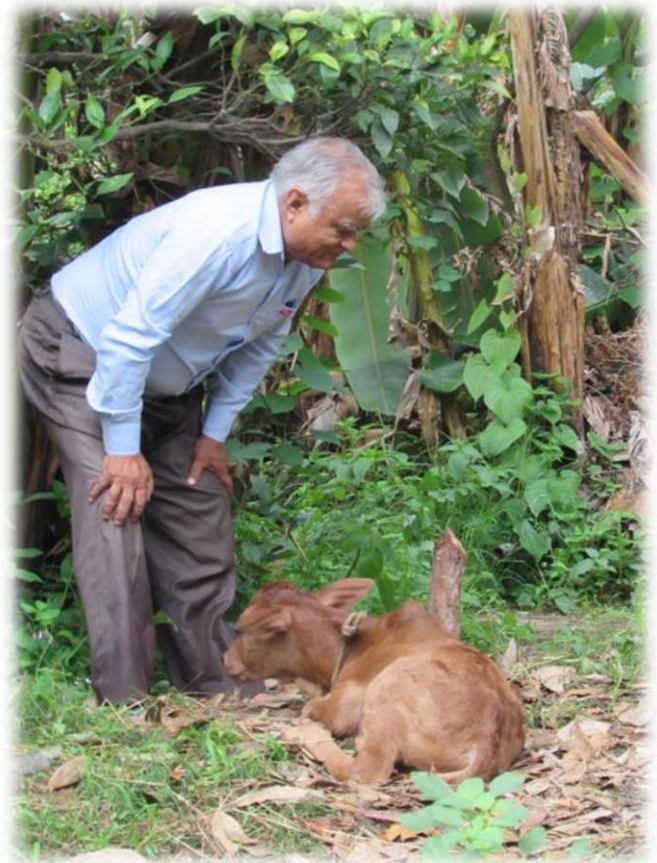
村を移動する人



牧草を運ぶ人



村の人の生活は、自給自足に近いものがありました。養蜂をしたり、牛を飼って、搾乳し、ヨーグルトも自家製。



村の人々の生活は、都市部の生活とは全く違い、厳しいものでした。それでも、私が村を訪ねていくと、お水を入れてくれたり、お茶に誘ってくれる人など、心温かい人が多かったです。遠い国から来た旅行者は、大変珍しいようで、色んな人と話す機会に恵まれました。小さな小さな村であるにも関わらず、子供たちは英語を学校で学んでいるようで、会話に困ることもありませんでした。



村を案内してくれた子供たち



お世話になった家族の皆さん

## 終わりに

今回も読んでいただき、ありがとうございます。インドについての質問や、取り上げてほしいトピックなどありましたら、いつでもご連絡ください。わかる範囲内でお答えいたします！それでは、皆さま、なますかーる。

武藤 愛

連絡先 : a.muto112★gmail.com (★を@に変換してください)